

質問

啓発に使える災害時の動物たちと飼い主様の状況などが具体的に公開されているものを教えてください

三平先生からの回答

防災啓発の基本は、「災害が起きた時（や起きる直前）でないと、なかなか腰は重い」ということです。よって、できるだけ多くの方に伝えたいという時には、何か一つに絞って啓発する決心が大切だと思います。絞った内容を来院する方に一言お伝えする、待ち合い時間に読んでもらえるよう簡単なチラシを渡す、または3分ぐらいの動画をとって、Youtubeなどにアップし、待合時間に何げなく見てもらうのも良いかもしれません。

西村先生からの回答

飼い主さまのペット防災は「ペット」しか見えていない傾向にあり、意識の高い飼い主さまに偏りがちです。ですので獣医療職の危機管理や防災の視点は、専門職として社会共助の視点に広げ、今のお立場も可能な限り地域で生かして下さい。「防災・減災」は、皆で取り組むものですので、専門職の壁を取り払ってくれます。ぜひ！獣医療の枠から出て、地域でセミナーをおこなって行って下さい。同じ災害はございません。過去の対応は危機管理を行う上で選択肢を広げますが、「防災」はその家族（ペット含む）に合った備えが何より重要です。

具体的な情報

- ・ NHK 東日本アーカイブス
<https://www9.nhk.or.jp/archives/311shogen/summary/evi/13/>
<https://www9.nhk.or.jp/archives/311shogen/>
こちらに「ペット」などのキーワードを入れると良い。福祉や小児、障害などの要配慮者や要支援者などの映像も、「ペット」だけでない視点がとても大切なので、是非獣医療の方々に知って頂きたい。その視点が持てた時に、取りこぼすことのない防災や支援ができ、その取り組みへのヒントとなるの気づきが得られ、地域において、より共助（近助）が進み、間接的に「飼い主さまとペット」を守ることに繋がると考えます。
- ・ 東日本大震災における被災動物対応記録集
https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2508c.html
- ・ 熊本地震における被災動物対応記録集
https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h3003.html
- ・ アメリカ獣医師会の災害支援情報（ペット対策もあり）
<https://www.avma.org/disaster-aid-veterinarians>
- ・ 飼い主さま向け（埼玉県とさいたま市のガイドライン）※昨年の台風後に改定もあり
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0706/doubutu/doukouhinanguideline.html>
<https://www.city.saitama.jp/001/011/015/006/p055713.html>
- ・ 映画「犬と猫と人間と2」DVD：獣医療の良い面ばかりではないことを知る内容
※ シリーズ1は生命に向き合う内容 <http://inunekoningen2.com/>
- ・ 動物支援ナース Facebook：わんにゃん緊急災害ネットワーク熊本と協力し令和2年熊本豪雨の様子を更新
<https://www.facebook.com/dobutukangoshi/>
- ・ 都道府県の保健局の方針や地域防災計画のペット支援、災害支援法や災害救助法などの仕組みを知る
https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/1_law/files/d_300401.pdf
- ・ その他：ハザードマップや地域危険度、被害想定などのマップ類など